

# 小須戸公民館報

町館信日  
戸常日  
須公常  
中央田月  
小成月  
中成月  
発行日  
須成月  
須成月  
印刷所

## 昨年引き続き 愛の一声運動を提案

### ～12・5小須戸町教育懇談会～



12・5 教育懇談会

小須戸町PTA連絡協議会(町P連)主催の教育懇談会が、去る十二月五日、中央公民館で開催されました。この会は、小須戸町の学校・家庭・地域が連携協力しながらそれぞれの立場で教育力を高め、より良い環境を作り出すことを目的としており、今年で二十一回目を迎えました。これまでに、町民憲章の提案や、青少年の非行多発の原因の追求等と様々な問題をテーマに取り上げてきました。そして今年も、昨年に引き続き「愛の一声運動」について協議しました。

#### 都市型社会による現状

近年の地域社会は、単社会とも言われる生活圏の広域化や核家族化、さらに、生活様式の変化も加わり、人と人の触れ合いが希薄となり町にもその傾向が見られつつあります。そのため地域での連帯感や、家庭・地域の教育力を高めることを目的に当教育懇談会が開かれました。

#### 家庭や地域との交流が必要

当日は、小須戸町長をはじめ各団体の代表者五十人が参加して、活発な意見討論が行なわれました。最初、老人クラブや各地区の現状、町P連のあいさつ等に関するアンケート調査の結果などが発表されました。町P連が実施したアンケートの意見には、  
・朝早く、夜遅く帰るため、声をかける機会がない  
・相手(子供等)を知らない  
・自分の子供でないと責任がない  
・あまり子供と親しくない  
・近所の子供に合う機会がない  
というように、家庭や地域での交流が必要とされる意見が出されていきました。

### ちよこつと一言 (9)

さあ、今日も元気に気持ちよく  
「おはようございます。路線バスの運転手をしている私の一日は、お客へのこの言葉で始まります。あいさつは人間同士のコミュニケーションを持つためには大切な言葉だと思えます。私の路線バスには保育園児から年配者まで色々な人達が乗っ



てくれます。私は、すべての人達にあいさつをするよう心がけています。そしてすべての人達に共通している事は、あいさつをし続けること必ずあいさつをしてくれるようになる事です。あいさつはお互いの気持ちをなごませてくれます。よし、今日も元気をだして、気持ちよく「おはようございます。」

(地域行事の推進)が決められています。

#### 町ぐるみの運動へ

今、子供達にとって一番必要なことは、正しい生活習慣を身につけさせることです。なかでも気持ちの良いあいさつは生活する上で最も基本的な事です。そのためには、まず親や地域の人が手本を示し、いろいろな機会に、子供達に声をかけてやる事が大切です。

#### 話し合いの中では、知らない子供達にあいさつをして失敗した。

「地域の集まりであいさつを呼びかけている。」  
「心の通じない状態で、声をかけ合っても意味が無い。」  
「子供達の人格を尊重しなければならぬ。」  
などの意見が出され、町ぐるみの触れ合いの必要性が叫ばれていました。  
今後、あいさつ運動を具体的に進めていく活動として、  
・幼・小・中のアンケート調査の充実  
・会報紙・チラシによる町民へのアピール、PR  
・講演会の開催  
・地域懇談会の実施  
・地域行事への親子参加



#### やっただ、二科展 風間三兄弟入選

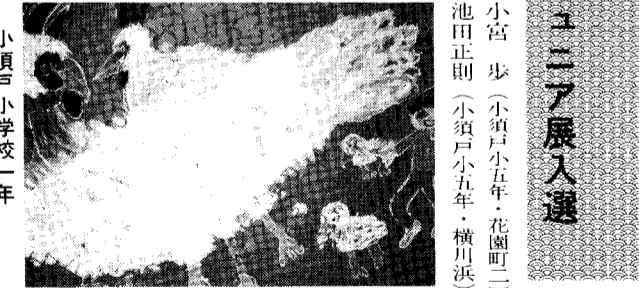
十二月八日から十三日にかけて、新潟市伊勢丹デパートで第七回新潟二科写真公募展(以下二科展)が開催された。この二科展に小須戸町から三兄弟揃っての入選者が出た。風間源一郎さん(本町一・四十八才)忠雄さん(花園一・四十一才)正樹さん(本町一・二十八才)である。  
二科展入選の感想を一言、源「あの作品で入選とは恥かしい、けどホッとしました。」  
写真の楽しさは「瞬間を切り取れることかな。」

### ふんふんと散歩 (20)

「やっただ、二科展 風間三兄弟入選」  
「やっただ、二科展 風間三兄弟入選」  
「やっただ、二科展 風間三兄弟入選」



風間源一郎さん(本町一・四十八才)忠雄さん(花園一・四十一才)正樹さん(本町一・二十八才)



小須戸小学校一年 五十嵐一徳

#### 教育電話相談開設

38-3111 (内線56)  
電話による教育相談に応じます。子供のしつけ、いじめ、教育をめぐる悩みや心配ごと等お気軽に相談下さい。  
毎月第2・4水曜日  
午前9時から午後4時

#### 第28回 町民庭球 大会結果

去る十一月六日(日)町民体育館及び中学コートを会場として第二十八回町民庭球大会が開催されました。庭球愛好者六十余名が参加、歓声と熱気の高まった試合が繰り広げられました。

# ゆくゆく年 '88公民館活動を振り返る

88年も残すところ半月程になりました。この一年間公民館では、社会教育の拠点として、多種多様な活動に取り組んで来ました。来年に向けて今年一年の主な事業を振り返ってみます。

## 家庭教育

・あすなろつ子広場(参加者32名)  
0才から就学までの子供を持つ両親を対象として実施。望ましい養育態度と親子のふれ合いを大切にしました。

## 青年教育

・ヤングレディス教室(参加者43名)  
若い女性だけの教室。テーラールナー、電話の対応等、実際にやってみる楽しい内容でした。

## 婦人教育

・婦人学級(総参加者150名)  
矢代田、天ヶ沢、鎌倉、横川、小向、水田と分館が主催する身近なテーマについての学級です。

## 成人教育

・小須戸町史を読む会(60名)  
今年是我が町にある文化財を皆んなで見つめました。  
・古典講座(20名)  
「たかごや」の能の学習に取り組みました。仲間ながら多勢の方々が集まります。

## 文化活動

・初心者教室(総参加者130名)  
写真、社交ダンス、日本画、書道、拓本と昨年開級した俳句教室を実施。どなたでも気軽に参加できる内容にしました。  
・文化祭行事  
町民展、文化祭、芸能祭、文化講演会を開催。今年には文化協会等と共催するなど、町ぐるみの行事にしてみました。

・公民館報発行  
・情報紙の発行  
・親子文庫(横水保育園)  
・図書室夜間開放  
等を実施。今後とも内容を充実して行きます。



古典講座

## 視聴覚・広報活動

・放送利用講座「海の湯の世界をくぐる」  
・分館活動  
分館は、地域に密着した活動を実施しています。活動は分館により異なりますが、運動会、明るい家庭づくり講演会、親子映画会、親子釣り大会、球技大会、野球大会など様々です。



第4回芸能祭

## 第三十九回町民卓球大会

十一月二十日、町民体育館を会場に第三十九回町民卓球大会が開催されました。当日は肌寒い日でしたが、元気な町民百三十名が参加。横山俊樹さんが個人戦で、秋・春・秋の三季連続優勝を果たしました。

### 男子団体戦

- 一位 本町チーム
- 二位 キヤブテン
- 三位 天ヶ沢チーム

### 女子団体戦

- 一位 理研コイル
- 二位 キャンデーイズ
- 三位 中学三年チーム

### 男子個人戦一般の部

- 一位 横山俊樹(天ヶ沢)
- 二位 藤 政人(新町四)
- 三位 長沢富士雄(横川浜)

### 女子個人戦一般の部

- 一位 高橋 剛
- 二位 野崎邦夫(中央町)
- 三位 堀 幹雄(理研コイル)

### 卓球(団体)

- 一位 水田 四位 文京町一
- 二位 横川浜
- 三位 小向

### 卓球(個人)

- 一位 文京町一
- 二位 横川浜
- 三位 小向

### バレー(団体)

- 一位 横川浜
- 二位 小向
- 三位 水田

### バレー(個人)

- 一位 横川浜
- 二位 小向
- 三位 水田

## 期待されている小須戸町ニッポン全国むらおこし展記

十一月二十五日から二十七日の三日間、東京池袋にあるサンシャインシティの文化会館を会場に「ニッポン全国むらおこし展」が開催され、本町商工会も出展してまいりました。

これは、全国むらおこし事業の一環として全国商工会連合会が主催するもので、全国七百余の商工会の特産品が展示・即売されるものです。

今年には青函トンネル、瀬戸大橋の開通により、日本列島がひとつに結ばれた事を機に、テーマに「ひとつになったニッポン」とつき、全国ぐるみのむらおこし行事になったものです。

当町から即売した品物は、おから菓子、漬物類、豆菓子類です。僅かの出店スペースしかありませんでしたが、大変好評をいただき、完売してまいりました。

そして、物産展の三日間に数多くの本町出身者の方々に「懐かしい」「小須戸がこんな事をやるとは思わなかった」「皆んなによろしく伝えてほしい」「地元を誇りに期待している」「頑張っている」「等激励され、又、商品も数多く買っていただきました。当方からは本町の現況等お伝えしてまいりました。

初めての物産展参加でありましたが、本町出身者の皆さんに喜んでいただけた事、即売品によるPRなどを通じて、大変意義あるむらおこし展でした。(商工会・小林記)

## 横水分館球技大会

十一月二十七日、町民体育館において横水分館球技大会が開催され、男女約百名が気持よく汗を流しました。団体戦はバレーボールが横川浜、卓球は文京町一丁目が優勝しました。

### バレー(団体)

- 一位 横川浜
- 二位 小向
- 三位 水田

### 卓球(団体)

- 一位 文京町一
- 二位 横川浜
- 三位 小向

### バレー(個人)

- 一位 長沢富士夫(横川浜)
- 二位 野崎義和(横川浜)
- 三位 小林 豊(文京町一)

### 卓球(個人)

- 一位 加藤小百合(横川浜)
- 二位 長沢寿人(小向)
- 三位 米田聡(小向)

### バレー(個人)

- 一位 吉田亜矢子(文京町一)
- 二位 吉田 芳夫(横川浜)
- 三位 横山香苗

## 図書だより

- ミカドの肖像 猪瀬 直樹
- ゲリラ將軍 中島 欣也
- 女ざかり・結婚式 森 瑤子
- 風 城山 三郎
- 童話大全集 宮沢 賢治
- 夢のかけ橋華の乱 永畑 道子
- 誰袖草 中里 恒子
- 黄色い髪 于刈あがた
- 戦国の風 谷 恒生
- 尋ね人の時間 新井 満
- 闇如暗殺 角田 房子
- 荒木村重 黒部 亨
- 神鷲商人(上下) 深田 祐介
- 古代史への旅 黒岩 重吾
- 火宅の女 平岩 弓枝
- 羊をめぐる冒険 村上 春樹
- 歴史をさわがせた女たち 永井 路子
- クロワッサン症候群 松原 惇子
- 図書寄贈御礼 吉田武雄氏(蔵町一)

## 小須戸川柳会

題「貸し借り」  
ホーナステつけを返してつけて飲み  
借りる身が虚勢張っててクラス会  
にっこりと姉の衣装で七五三  
貸し借りも隣近所のお付き合  
与野党は貸しと借りとて御上  
借りますと気軽に友の長電話  
幸せの門出に羽織る貸衣裳  
あの人はまだ返さない愛の借り  
老二人たがいに借る膝枕  
借りに来て猫も杓子も寝て  
男手を借りてそのまま居すわ  
玄関で足踏みしている請求書  
プレゼントされた指輪に借りが出来  
寸借がつもりつもって身の破滅  
道ずれもよし君にならず借そう  
貸し衣裳家の娘もスター並み  
忘年会多すぎ夫に借りが出来  
月影のさやけ道を習いし踊りの手振りさ  
らい歩きぬ  
嬰兒に教えこみたる芸一つ家族は魅せられ  
いつづくる  
逆さし友別れを惜しむ葬列に赤きトンボの群  
がり飛びぬ  
逢うたびに小さく見ゆるわが母にうれしき事  
のみ聞かせ帰るぬ  
暮れせめし刈田に煙ただよいて温かい自  
転車ゆるめり  
大森美恵子

## 短歌クラブ作品

むらさきのラシャ着て厚きミヤストマ  
近濁ごと多かる日々よ萬もみじ  
かりん熟る昔お医者屋敷跡  
檜檜の実からんと胸に米し言葉  
霜降の日の恙なき朝寝坊  
女教師を中に子等行く秋桜  
朝霧や目ざめの早き峡部落  
父の忌や石頭の如きかりんの実  
入歯して声の角ばる秋の風  
休み田の豆の熟色秋深む  
菊なます小きき詩かい触れずして  
言葉にならぬ海日和大根干し  
祖母と言う静かきにいて柿をむく  
柿むいて皮の長きを染しかり  
茶焼く背戸田にべ落しかな  
編織の先から暗くなる時雨  
木枯の吹き荒るる夜の月巻く千大根の抜け落  
らる音  
青き柚子鉢よりひとつもききたり卵酒に浮か  
しマスクして喚ぐ  
松のいま黄葉のいまに紅葉照る石油館の山の  
庭かな  
加藤 茂

## 十一月例会作品

小須戸町俳句同好会  
むらさきのラシャ着て厚きミヤストマ  
近濁ごと多かる日々よ萬もみじ  
かりん熟る昔お医者屋敷跡  
檜檜の実からんと胸に米し言葉  
霜降の日の恙なき朝寝坊  
女教師を中に子等行く秋桜  
朝霧や目ざめの早き峡部落  
父の忌や石頭の如きかりんの実  
入歯して声の角ばる秋の風  
休み田の豆の熟色秋深む  
菊なます小きき詩かい触れずして  
言葉にならぬ海日和大根干し  
祖母と言う静かきにいて柿をむく  
柿むいて皮の長きを染しかり  
茶焼く背戸田にべ落しかな  
編織の先から暗くなる時雨  
木枯の吹き荒るる夜の月巻く千大根の抜け落  
らる音  
青き柚子鉢よりひとつもききたり卵酒に浮か  
しマスクして喚ぐ  
松のいま黄葉のいまに紅葉照る石油館の山の  
庭かな  
加藤 茂

## 短歌

むらさきのラシャ着て厚きミヤストマ  
近濁ごと多かる日々よ萬もみじ  
かりん熟る昔お医者屋敷跡  
檜檜の実からんと胸に米し言葉  
霜降の日の恙なき朝寝坊  
女教師を中に子等行く秋桜  
朝霧や目ざめの早き峡部落  
父の忌や石頭の如きかりんの実  
入歯して声の角ばる秋の風  
休み田の豆の熟色秋深む  
菊なます小きき詩かい触れずして  
言葉にならぬ海日和大根干し  
祖母と言う静かきにいて柿をむく  
柿むいて皮の長きを染しかり  
茶焼く背戸田にべ落しかな  
編織の先から暗くなる時雨  
木枯の吹き荒るる夜の月巻く千大根の抜け落  
らる音  
青き柚子鉢よりひとつもききたり卵酒に浮か  
しマスクして喚ぐ  
松のいま黄葉のいまに紅葉照る石油館の山の  
庭かな  
加藤 茂